

施策評価シート(令和3年度)

(基本施策の大綱) 1. 快適さを支える生活基盤の向上

(基本施策) (3)上下水道の充実

(評価担当者)

上下水道部長 田中 直樹

基本施策が目指す姿

市民が、良好な水環境の中、おいしい水を利用しています。

関連する分野別計画

亀山市新水道ビジョン

成果指標

	項目	単位	現状値		実績値					目標値
					H29	H30	R1	R2	R3	
1	上水道の有収率	%	89.2	H27	90.8	91.2	88.8	90.0	89.5	92.6
2	汚水処理人口普及率	%	86.2	H27	88.0	88.2	88.3	88.6	88.8	90.0
3	水道事業会計の経常収支比率	%	109.07	H27	108.59	120.39	122.92	120.67	120.44	110.00
4	公共下水道事業会計の経常収支比率	%	103.19	H27	102.92	103.95	102.50	104.12	102.60	100.00
5										

市民アンケート調査

項目	重要度	現状値	1次	2次	市民アンケートの考察
		[H27]	[H30]	[R2]	
1 安全でおいしい水が供給されている	重要度	1.60	1.61	1.62	水の安定供給、生活排水処理の重要度は、共に高い結果となっている。満足度において、水道については高い評価を得ていることから、継続して安全でおいしい水を安定的に供給できるように施設の更新や維持管理などに取り組む必要がある。生活排水処理については、市民満足度向上を目指し、計画的な下水道整備を推進する必要がある。
	満足度	0.96	1.05	1.08	
2 生活排水が適正に処理されている	重要度	1.48	1.42	1.52	
	満足度	0.66	0.71	0.85	
3	重要度				
	満足度				
4	重要度				
	満足度				
5	重要度				
	満足度				

総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
A 順調に進んだ	安全でおいしい水の安定供給については、老朽管の更新・耐震化、水量水圧不足解消対策を計画的に進め、生活排水対策の推進については、公共下水道の計画的な整備により汚水処理人口普及率が、また、下水道事業のPRIにより接続率が向上している。農業集落排水事業では、施設機能強化事業において工事発注を行い、上下水道事業の健全経営については、経営戦略に基づく事業展開に努めるとともに、農業集落排水事業において、令和4年度から企業会計に移行を行うことから施策の推進が図れている。個別の判定では、施策の方向①③でA、②でBとしていることから総合判定をAとした。
反省点・課題	
上水道事業については、水道施設や配水管の老朽化対策や耐震化、震災対策を計画的に進めるために、有収率の向上、水道料金の収納率の向上に継続して取り組み、財源確保に努める必要がある。また、工業用水道について、新たな産業団地への水の供給を行うため産業環境部と連携した取り組みを行う必要がある。さらに、下水道事業については、公共下水道の未普及地域の整備、施設の長寿命化及び農業集落排水事業の機能強化について、国庫補助金の活用により計画的・効率的に進めるとともに、下水道への接続の促進、下水道料金の収納率の向上に努める必要がある。そのほか、令和4年度から企業会計化した農業集落排水事業と公共下水道事業を統合した下水道事業会計において、健全経営に努めるとともに効率的・効果的な事業運営を行う必要がある。	

今後の展開方針

上水道事業については、安全でおいしい水を安定的に供給できるよう、新水道ビジョンに基づき、水道施設や配水管の更新・耐震化などを進めるとともに財源確保及び有収率の向上に努める。工業用水道については、新たな産業団地への水の確保に関する検討を行い、公共下水道事業については、公共下水道事業計画、下水道ストックマネジメント計画等に基づき、計画的な未普及地域の整備、管路の長寿命化対策を進めるとともに、各種補助事業を活用して財源確保に努める。また、生活排水処理アクションプログラムの変更に基づいた事業計画による整備や、農業集落排水地区の一部を公共下水道へ接続した後の使用料等の取扱いについて検討を行う。農業集落排水事業については、機能診断を基に施設の更新等を進め、ライフサイクルコストの縮減や平準化を図るとともに、公営企業会計による健全経営に努める。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向① 安全でおいしい水の安定供給								
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】			【左記の活動により、施策は推進できたか】			
A	活動	安全でおいしい水の安定供給を図るため、老朽管の更新と耐震化に努めた。また、亀山第1水源系、関第2水源系の基幹管路の一部耐震化を行い、第1水源系における基幹管路のルート検討は、鉄道横断箇所になることから関係機関と協議を行った。さらに、住山加圧ポンプ室の建設工事を完成させ、新施設への切替作業を行い、水量水圧不足解消を図った。			評価	水道管及び水源地等の施設整備の計画的な更新と耐震化を図ることや加圧ポンプ施設等の整備により、水量水圧不足の解消を図ることで、安全でおいしい水の安定供給につながった。また、次年度以降の事業推進に向けての準備を着実に行った。		
		順調に進んだ						
関連事業	番号	事務事業の名称			区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17011	水道生活基盤整備事業			主	184,563 / 162,984	A	A
	19003	水道施設耐震化整備事業			主	78,558 / 76,306	A	A
	20001	水道施設台帳整備事業			主	47,000 / 47,000	A	A
事業以外の取組	内容						活動	成果

施策の方向② 生活排水対策の推進								
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】			【左記の活動により、施策は推進できたか】			
B	活動	公共下水道施設整備事業については、早期発注により管渠工事と変更事業計画策定を実施した。また、長寿命化対策事業についても、計画どおりの発注により工事を実施した。農業集落排水施設機能強化事業についても、早期発注により詳細設計業務を行い、計画どおりの工事発注を実施した。			評価	公共下水道施設整備事業は、移設補償費が一部繰越となったが、管路整備は完成したため、未普及地域の解消は計画どおり図れた。長寿命化対策事業は計画どおりの整備が実施され施設の健全化が図れた。農業集落排水事業は新型コロナウイルス感染症の関係から年度内の資材調達が困難となり、工事の完成が出来ず計画的な機能回復が図れなかった。		
		まずまず進んだ						
関連事業	番号	事務事業の名称			区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17012	公共下水道施設整備事業			主	664,982 / 658,364	B	B
	17013	下水道管渠長寿命化対策事業(みどり町、みずほ台地区)			主	60,000 / 59,456	A	A
	17014	農業集落排水施設機能強化事業			主	5,720 / 5,720	B	B
事業以外の取組	内容						活動	成果

施策の方向③ 上下水道事業の健全経営								
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】			【左記の活動により、施策は推進できたか】			
A	活動	水道・工業用水道事業については、経営戦略に基づき、水道水の安定的な供給と健全な事業運営に努めた。公共下水道・農業集落排水事業については、経営戦略の見直しを、農業集落排水事業については、公営企業会計移行の取り組みを行い、持続的な経営の確保と経営基盤の強化に努めた。また、スマートフォンアプリによる収納等納付手段の周知を行い、財源確保に努めた。			評価	水道・工業用水道・公共下水道・農業集落排水の4事業について、経営戦略に基づく事業の実施により、健全経営に努めることができた。また、令和4年度から農業集落排水事業を企業会計に移行することで、更なる経営の健全化及び計画性・透明性の向上につなげる準備ができた。		
		順調に進んだ						
関連事業	番号	事務事業の名称			区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
						/		
						/		
事業以外の取組	内容						活動	成果
	亀山市下水道事業経営戦略(公共下水道事業・農業集落排水事業)について令和3年12月改定						A	A
	農業集落排水事業の公営企業会計移行への取り組み						A	A